



あの旗を撃て



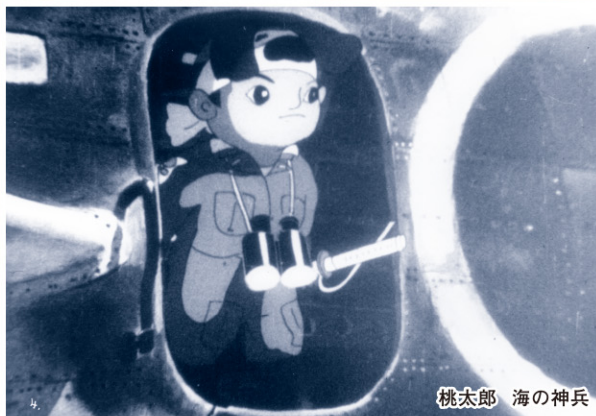
土



切られ与三郎



ゼロの焦点



桃太郎 海の神兵

通常上映

日本映画名作選

図書館収蔵の日本映画の秀作・名作を上映

特別企画

2018年第29回福岡アジア文化賞 大賞受賞記念

ジャ・ジャンクー監督特集

現代中国を代表するジャ・ジャンクー監督の初期の代表作を上映。



ジャ・ジャンクー監督

通常
上映

日本映画名作選

図書館収蔵の日本映画の秀作・名作を上映

会期：9月5日(水)～9月24日(月・休) ※休館日・休映日除く

観覧料：500円(大人) 400円(大学生・高校生) 300円(中学生・小学生)

※定員制。各回入替制。

※チケットはすべて当日券。前売り券はありません。

※障がい者の方は無料。福岡市在住の65歳以上の方は250円。
(手帳や保険証などの提示が必要です。)

※「わの会」会員の方は250円。(会員証の提示が必要です。)

5(水) 14:00 / 17(月・祝) 14:00

土



勘次一家は4人家族で妻は亡くなっていた。ある時舅の卯平は不注意から火事を出してしまう。長塚節の原作小説は農民文学の代表作。土にしがみつ農士の救いのない生活が丹念に描かれる。撮影は3年の長期に及び、地味な文学映画にも関わらず大ヒット、内田吐夢監督の戦前の代表作となった。※映画は冒頭とラストが欠落していますが、現存する唯一のものでそのまま上映します。ご了承下さい。

監督：内田吐夢
出演：小杉勇 風見章子
1939年/16ミリ/モノクロ/94分/日活

6(木) 11:00 / 15(土) 14:00

あの旗を撃て

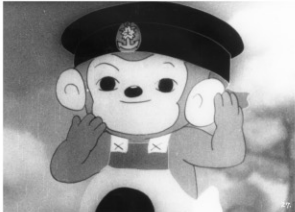


太平洋戦争中のフィリピン・マニラ。12歳の少年トニーは車にはねられ歩けなくなる。トニーは日本兵・池島と親しくなり、池島はトニーを軍医に見せ手術をすることになる。陸軍省の後援で製作された戦意高揚を目的とした作品。ほとんどがフィリピンで撮影されており、フィリピンの大監督ヘラルド・デ・レオンが協力している。映画の完成度は高く戦争映画の大傑作である。

監督：阿部豊
出演：大河内伝次郎 河津清三郎
1944年/35ミリ/モノクロ/108分/東宝

6(木) 14:00 / 16(日) 11:00

桃太郎 海の神兵



太平洋戦争末期。鬼ヶ島に住む鬼退治のため、桃太郎を隊長として、サル、キジ、イヌ、クマたちによる落下傘降下作戦が開始される。童話の桃太郎を使った戦意高揚を目的に製作されたアニメーション映画。海軍省の後援を得て、制作スタッフ70名、製作費27万円(現在の金額で数億円になる)の破格の条件で製作された日本初の本格的長編アニメーション。その技術水準の高さはディズニーにも匹敵する。

演出：瀬尾光世
1945年/35ミリ/モノクロ/74分
松竹動画研究所

7(金) 11:00 / 17(月・祝) 11:00

歌うエノケン捕物帖



江戸の駕籠かき権三と助十のコンビは、怪しい浪人を目撃したことで殺人事件に巻き込まれ、二人の住む長屋は大騒ぎとなる。当時一世を風靡したエノケン主演のコメディ映画の快作。「東京ブギウギ」など戦前戦後の名曲が、替え歌としてふんだんに使用されている歌謡オペレッタ映画。

監督：渡辺邦男
出演：榎本健一 笠置シズ子
1948年/16ミリ/モノクロ/78分
エノケンプロ=新東宝

7(金) 14:00 / 16(日) 14:00

地獄門



平清盛の留守を狙って反清盛派の反乱がおきる。上皇とその妹を救うため側近の侍女・袈裟が身代わりとなり牛車に乗る。盛遠はその牛車の警護を任せられ、敵を蹴散らすのだが、盛遠は袈裟の美しさに心を奪われてしまう。菊池寛の小説「袈裟の良人」の映画化。大映初のカラー作品であり、豪華絢爛たる時代絵巻は、カンヌ映画祭グランプリやアカデミー外国語映画賞などを受賞する。

監督：衣笠貞之助
出演：長谷川一夫 京マチ子
1953年/35ミリ/カラー/88分/大映

8(土) 11:00 / 21(金) 14:00

真昼の暗黒



1951年。瀬戸内海の三原村で老夫婦が殺害される。翌日小島という男が逮捕され、自白により4人の男が共犯者として逮捕される。裁判となり検察は5人の共犯を主張するが、共犯として逮捕された植村の弁護士は小島の単独犯行を主張する。本作は実際に起きた殺人事件(八海事件)を映画化したもの。橋本忍による見事な脚本を社会派の巨匠・今井正が緊迫感溢れる力作としている。

監督：今井正
出演：草薙幸二郎 松山照夫
1956年/35ミリ/モノクロ/124分
現代ぷろだくしょん

9(日) 11:00 / 13(木) 11:00

メソポタミア



1956年9月から翌年5月まで行われた東京大学イラク・イラン遺跡調査団に随行して製作されたドキュメンタリー。15名の調査団は遺跡を発掘し、4千年から8千年前の農民の生活を調査した。その他バクダッドの街並みや、東洋のベニスと言われたバスラ、キルクークのパイプラインなど変わりゆくエジプト、イラク、イランの姿が収められている。

製作：堀場伸世
1957年/35ミリ/カラー/72分
日本映画新社=東宝

8(土) 14:00 / 12(水) 14:00

喜びも悲しみも幾歳月



昭和7年、新婚の有沢四郎ときよ子の夫婦は観音崎灯台に赴任する。その後北海道の石狩灯台、九州五島の女島灯台、佐渡の弾崎灯台など全国の灯台に赴任していく。「二十四の瞳」と共に木下恵介監督作品として最も有名な作品。灯台守夫婦の25年に渡る年代記であり、それはそのまま激動の昭和史とも重なっている。日本の風景に溶け込んだささやかな庶民の生活への賛歌である。

監督：木下恵介
出演：佐田啓二 高峰秀子
1957年/35ミリ/カラー/159分/松竹

2018年第29回福岡アジア文化賞 大賞受賞記念

特別
企画

ジャ・ジャンクー監督特集

現代中国を代表するジャ・ジャンクー監督の初期の代表作を上映。

会期:9月1日(土)・2日(日)

観覧料:200円

主催:福岡アジア文化賞委員会 福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ実行委員会

※定員制。各回入替制。

※チケットはすべて当日券。前売り券はありません。

※料金は均一料金です。高齢者・障がい者・「わの会」等の割引はありません。

1(土) 11:00 / 2(日) 14:00

プラットホーム Platform

中国山西省の町・汾陽。4人の幼馴染の若者たちが劇団を作る。80年代半ば、改革開放の自由化の流れの中で劇団の在り方も変わり、4人の関係も不安定になっていく。旅をしながら公演を続ける劇団の10年の軌跡を描いた作品。ベネチア映画祭最優秀アジア映画賞などを受賞した傑作で、監督は中国インディペンデント映画の旗手として注目された。



©Bandai Visual, Bitters End, Office Kitano

監督:ジャ・ジャンクー
出演:ワン・ホンウェイ
チャオ・タオ

2000年/35ミリ/カラー/151分
香港=日本=フランス/日本語字幕付き

1(土) 14:30 / 2(日) 11:00

青の稲妻 Unknown Pleasures

中国山西省の都市・大同。ダンサーのチャオチャオと19歳のシャオジイ。彼の親友で同じ歳のビンビンとユェンユェン。地方都市に暮らす2組のカップルを描く切ない青春映画。変わりゆく社会の中で生きていく若者たちの姿を鮮烈に描いた作品。「プラットホーム」に続きヒロインを演じるチャオ・タオが現代中国の女性をリアルに演じる。



©Bandai Visual, Bitters End, Office Kitano

監督:ジャ・ジャンクー
出演:チャオ・タオ
チャオ・ウェイウェイ

2002年/35ミリ/カラー/112分
中国=日本=韓国=フランス
日本語字幕付き

9(日) 14:00 / 22(土) 11:00

切られ与三郎



監督:伊藤大輔
出演:市川雷蔵 淡路恵子
1960年/35ミリ/カラー/94分/大映

江戸の蠟燭問屋の息子与三郎は、家の跡取り問題から逃げるために家を出る。与三郎は木更津でお富という女と出会い駆け落ちをしようとするが、お富を囲う網元にばれて捕まり、海に投げ込まれる。「死んだはずだよ、お富さん」の歌謡曲で知られる歌舞伎の映画化。カメラマン宮川一夫の流麗なカメラワークや監督独特の移動撮影などが美しい。

21(金) 11:00 / 24(月・休) 14:00

ゼロの焦点



監督:野村芳太郎
出演:久我美子 高千穂ひづる
1961年/35ミリ/モノクロ/95分/松竹

鶴原憲一は広告会社の金沢出張所長だった。ところが憲一は突然失踪してしまう。妻の禎子と部下の岡田は健一の行方を捜して金沢に向かうが、まったく原因がつかめない。ベストセラーとなった松本清張の同名小説の映画化。憲一の過去を追求するうちに次々に新しい事実が浮かび上がるサンペンス・ミステリーである。

14(金) 11:00 / 23(日) 11:00

ニッポン無責任時代



監督:古澤憲吾
出演:植木等 重山規子
1962年/35ミリ/カラー/86分/東宝

口八丁、手八丁の男・平均(たいらひとし)は、太平洋酒の中でその調子の良さを武器に、コネと人脈で次々に出世していく。コミックバンド「ハナ肇とクレージーキャッツ」のポーカーとして活躍した植木等の初主演映画。この映画がヒットしたことから植木等主演映画が多数製作された。生真面目な日本型のサラリーマンに対する優れた風刺としても見る事ができる娯楽作品の秀作。

14(金) 14:00 / 22(土) 14:00

花と龍



監督:山下耕作
出演:中村錦之助 佐久間良子
1965年/35ミリ/カラー/97分/東映

明治末期の北九州・門司。玉井金五郎は一旗揚げようと四国から北九州にやって来る。石炭を船に積み込む沖仲士になった金五郎は出世し、やがて玉井組が誕生する。火野葦平の小説「花と竜」の映画化。玉井金五郎は実在の人物で火野葦平の父親。若き玉井金五郎の熱血溢れる青春映画で、中村錦之助が明るいタッチで金五郎を演じる。

13(木) 14:00 / 23(日) 14:00

柳川堀割物語



監督:高畑勲
1987年/16ミリ/カラー/167分/二馬力

福岡県柳川市。84年にドブ河と化した水路を埋め立て駐車場にする都市計画ができる。ところが柳川市の係長は水路を浄化して人々の生活に役立てることを提案し、柳川の水路はよみがえる。今年亡くなったアニメーション映画の巨匠・高畑勲によるドキュメンタリー映画。製作は宮崎駿。柳川の水路の歴史や、水路が人々とどう関わっているかを詳細に記録した作品。

20(木) 14:00 / 24(月・休) 11:00

水の中の八月



監督:石井聰互
出演:小嶺麗奈 青木伸輔
1995年/35ミリ/カラー/118分
「水の中の八月」製作委員会

高校生・葉月泉は桑島真魚と出会い恋人同士になる。その頃福岡市では「石化病」という謎の奇病が流行していた。「狂い咲きサンダーロード」などで知られる福岡市出身の石井聰互監督によるSFファンタジー。不思議な能力に目覚めた少女とそれにより起きる事件の物語だが、ほとんどが志賀島や福岡市内などで撮影されており、地元・福岡のスタッフも数多く参加している。



ジャ・ジャンクー
監督特集

1 土	11:00 プラットホーム	14:30 青の稲妻
2 日	11:00 青の稲妻	14:00 プラットホーム
3 月	休館日	
4 火	休映日	
5 水		14:00 土
6 木	11:00 あの旗を撃て	14:00 桃太郎 海の神兵
7 金	11:00 歌うエノケン補物帖	14:00 地獄門
8 土	11:00 真昼の暗黒	14:00 喜びも悲しみも幾歳月
9 日	11:00 メソポタミア	14:00 切られ与三郎
10 月	休館日	
11 火	休映日	
12 水		14:00 喜びも悲しみも幾歳月
13 木	11:00 メソポタミア	14:00 柳川堀割物語
14 金	11:00 ニッポン無責任時代	14:00 花と龍
15 土		14:00 あの旗を撃て
16 日	11:00 桃太郎 海の神兵	14:00 地獄門
17 月祝	11:00 歌うエノケン補物帖	14:00 土
18 火	休館日	
19 水	休映日	
20 木		14:00 水の中の八月
21 金	11:00 ゼロの焦点	14:00 真昼の暗黒
22 土	11:00 切られ与三郎	14:00 花と龍
23 日	11:00 ニッポン無責任時代	14:00 柳川堀割物語
24 月休	11:00 水の中の八月	14:00 ゼロの焦点
25 火	休館日	
26 水 ▶ 30 日	休映日	

日本映画名作選

アジアフォーカス・福岡国際映画祭 2018

Focus on Asia Fukuoka International Film Festival 2018

アジアフォーカス・福岡国際映画祭は、今年で28回目を迎える歴史と伝統のある映画祭で、アジアの良質な映画を発掘し、日本をはじめ世界に紹介しています。

今年は、9月14日(金)から23日(日・祝)までの10日間、キャナルシティ博多内のユナイテッド・シネマキャナルシティ13で開催します。

アジアを中心とした国と地域の新作・日本未公開作品などを15作品上映するとともに、監督や俳優などのゲストが登場する舞台挨拶をはじめ、特別上映や関連企画など福岡に居ながら世界の映像作品を楽しむイベントも盛りだくさんです。

また、フィリピン・シネマ100周年を記念し、「フィリピン」の映画作品をクローズアップします。映画上映に併せて、フィリピンに関する様々なイベントも開催し、フィリピンの魅力を存分に味わっていただきたいと思っています。

多くのご来場を心よりお待ちしております。

スケジュール

9月14日(金) オープニング・セレモニー
(レッドカーペット)

9月15日(土) オープニング上映会(要事前申し込み)
※時間や会場及びお申し込み方法などの詳細はホームページに掲載いたします。

9月15日(土)~23日(日) 一般上映

会場:ユナイテッド・シネマ キャナルシティ13

ホームページ <http://www.focus-on-asia.com>

お問合せ先

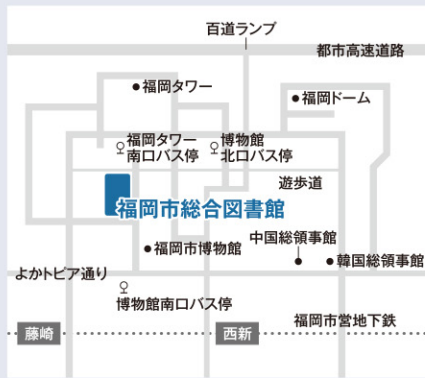
アジアフォーカス・福岡国際映画祭実行委員会事務局
Tel.092-733-5170

福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ

〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号
福岡市総合図書館(代表):tel.092-852-0600 fax.092-852-0609

福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ ホームページ

うえぶシネラ <http://www.cinela.com>



交通アクセス

当館の駐車場スペースに限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

【市営地下鉄】
西新駅または藤崎駅下車徒歩15分

【西鉄バス】

●博多駅、天神、西新から福岡タワー南口下車徒歩5分または博物館南口下車徒歩5分

●藤崎から福岡タワー南口下車徒歩5分
○所要時間は交通事情により異なります。バス運行時間、目的地までの所要時間の目安、またお近くのバス停からのご利用については西鉄お客様センター[TEL.0570-00-1010]に直接お問い合わせください。